

# 若手の院生・ 研究者（留学院生） の研究スタイル

みなさま

2015年度の日本社会福祉学会賞奨励賞は、同志社大学大学院社会福祉学専攻関係の二人の若手研究者が受賞しました。

この受賞を機に、若手の院生・研究者（留学院生）の研究を側面から支援することをめざして、受賞者の研究アウトプットや日ごろの研究スタイルを紹介する機会を設けました。

参加者が本音の議論を尽くすことで有益なサジェスションを得られることを期待しています。ふるってお集まりください。

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター長 埋橋孝文

## 第1部 2015年度社会福祉学会賞奨励賞受賞者による解題 (司会:山村りつ)

郭芳 (同志社大学留学生特任助手)

単著部門「中国農村地域における高齢者福祉サービス—小規模多機能ケアの構築に向けて—」(明石書店)

任貞美 (同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程院生、学振特別研究員DC2)

論文部門「介護職員の虐待認識に基づいた高齢者虐待定義の再構築への試み—「準虐待」の構造と特徴に着目して—」(『社会福祉学』Vol.54-4)

## 第2部 若手(女性)研究者の研究スタイル—苦勞したことや工夫したこと— (司会:埋橋孝文)

三島亜紀子 (同志社大学社会福祉教育・研究支援センター嘱託研究員、2008年度社会福祉学会賞奨励賞受賞者)

山村りつ (日本大学法学部助教、2012年度社会福祉学会賞奨励賞受賞者)

郭芳

任貞美

同志社大学新町キャンパス溪水館1階会議室

2015年11月21日(土)13時30分～16時30分

事前申込み不要・参加費無料